

%Mの信頼性係数(修正値)は.76であり,技法の標準化を行なうことによりロ・テストが十分な信頼性を備えることがわかった。

Hertz, M. R. 1942 Personality patterns in adolescence as portrayed by the Rorschach ink-blot method : I. The movement factors. *Journal of General Psychology*, 27, 119 - 188.

ロ・テストによる青年期的人格研究の一部として,運動反応の数量的分析並びにその心理学的意味を求めたもの。Sは男女76名。12歳と15歳の時のロ反応から, Mの年齢差(15歳の方が多い), 性差(女児が多い)をはじめ, Mの恒常性等の知見が得られ, 結果は内向性や情緒的成熟等の観点から解釈された。また, 30年代までのM反応関係論文の概観がなされている。

Hertz, M. R. and Kennedy, S. 1940 The M factor in estimating intelligence. *Rorschach Research Exchange*, 4, 105 - 106.

14歳と15歳の男女137名をSとして, 平均知, 平均上優秀知及び最優秀知群にわけ, カード毎のM反応出現パターンを分析した。その結果, 未分化なWや普通程度に組織化されたWに見られるMは平均知を示すにすぎないが, 部分を組織化して生じたMや, 良好独創反応のMは非常に優秀な知能を表わすと推論された。

Hertzman, M. and Pearce, J. 1947 The personal meaning of the human figure in the Rorschach. *Psychiatry*, 10, 413 - 422.

患者12名のロ・テストに出現した人間反応について, その後引き続き行なわれた心理療法の資料を用いて, その個人的意味を追求した結果, Hは自己および環境に対する態度を反映している場合が多いことがわかった。Mは, その数が治療の進展と必ずしも平行しないことから, それが創造的エネルギーを示すという説を修正すべきであるという。

日比裕泰 1969 精神分裂症のローレルシャッハ平凡反応に関する研究—主として運動反応との関連。ローレルシャッハ研究, XI, 41 - 56.

精神分裂病患者71名と大学生(統制群)45名のP反応とM反応の関連が調べられた。分裂病群では, Mのない群はMのある群よりもPが少なく, 分裂病群・統制群共にMの多寡とPの個数とは関連がみられなかった。この結果から, PとMが共通した心理機制をもち, P反応の方がより基本的な機制に基づくと解された。

堀越伸行 1960 家族像に対する態度とローレルシャッハM反応との関連。ローレルシャッハ研究, III, 189 - 198.

非行少年29名の家族像に対する態度をSCT形式でとられ, Mとの関係をみた。一般に, 家庭との結びつきがよい場合にM反応が多く, 特に母親への陽性感情を述べる者は多数のMをみる傾向があった。父親に陰性感情を述べる者はほとんどMをみることはできなかった。ただし, 同胞への態度とMの関連はなかった。

堀尾治代 1973 対人関係に障害をもつ青年のローレルシャッハ人間反応の特徴について。京都大学学生懇話室紀要, 第3輯, 26 - 35.

精神科を受診した対人障害の青年(男15, 女5)の他者認知と他者との関係認知を, ロ・テストのH反応内容から分析した。Mを, ①1人のH, ②複数のHに分けると, ①では消極的なイメージと間接的な見方, ②では拒否的・攻撃的な関係が多く, 対人関係の不適応が, 他者を拒否的・攻撃的な者と知覚し共感的に対応できぬことから生ずると解された。

Horiuchi, H. 1961 A study of perceptual process of Rorschach cards by tachistoscopic method on movement and shading responses. *Journal of projective Techniques*, 25, 44 - 53.

ロ・カード(ⅢとⅥ)をタキストで瞬間露出呈示する際, 露出時間(10 msec, 30 msec, 1 sec)及び自由露出の4種)と反応の知覚過程との関連をみた。Sは, 分裂病, 神経症, 正常各80名。運動に関しては, 露出時間の増加に伴いMは著明に増加すること, 比較的短い露出でMが見られるのは正常群だけである等の結果が得られた。

Hughes, R. L. and Fitzgerald, B. J. 1977 Vividness of visual imagery and movement percepts on the Rorschach. *Perceptual and Motor Skills*, 44, 419 - 422.

心像(mental imagery)とM反応との間に正の関係があるとの仮定が検討された。Sは大学生。Bettsの心像質問票のスコアに基づいて, 上位群下位群14名づつを選び, ロ・テストを実施して, 2群の総人間運動と総運動スコアを比較した。結果は, 期待に反し, 2種のスコア共に有意差なく, その原因は, ロ・テスト実施手続と質問票の性質に求められた。

Hutt, M. L., Gibby, R., Milton, E. O., and Pottharst, K. 1950 The effect of varied experimental